

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	隣接する同法人のグループホームと協力しながら、日常的に地域交流を行っている。さらなる活性化にも期待したい。	体操の講師を依頼し、下肢筋力や身体機能の向上に努める。地域の保育所と関わりを持ちながら、定期的な訪問を依頼する。隣接するグループホームと合同で活動する事によって、楽しみや意欲を引き出す。	体操の講師を隔月で各ホームに来て頂き、それぞれのホームへ出向き、両ホームの利用者に参加して頂き、筋力アップと脳の活性化に努める。保育所との関わりを深め、交流を増やしていく。	12 か月
2	40	食事作りには、一部の利用者が関わることが出来ている。さらに、簡単なおやつ作りなどで、より多くの利用者が、皆で楽しみながら作り、食べる機会が増えることに期待したい。	職員不足が懸念されているが、利用者と一緒に出来る食事メニューやおやつを栄養士と一緒に考え、実施する。嗜好調査を行ない、食事を楽しみの一つとする。	利用者が楽しみながら参加できるメニューを考え、職員と一緒に食事作りやおやつ作りを行なう。栄養士と季節に合ったメニュー作りを行ない、目でも舌でも楽しめる工夫をする。	12 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。  
 注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入して下さい。